

## 横浜共同声明

### 1. はじめに

- 1.1. 我々、日本国、中華人民共和国及び大韓民国の文化大臣は、第6回日中韓文化大臣会合を2014年11月30日に日本の横浜で開催した。
- 1.2. 我々は、「南通宣言」、「濟州宣言」及び「奈良宣言」の精神を継承するとともに、日中韓3か国の協力の枠組みを決定した2012年の「上海行動プログラム」及び協力の内容を更に具体化した2013年の「光州共同コミュニケ」に基づき、3か国間の文化交流と協力が順調に進展していることを確認した。
- 1.3. 我々は、文化交流と協力が3か国の国民間の相互理解及び友好を促進してきたことを再確認するとともに、未来志向の文化交流と協力を確立させることが3か国の文化の向上をもたらし、東アジアの平和と繁栄の礎となるとの認識を共有した。

### 2. これまでの文化交流事業のレビュー

- 2.1. 我々は、2012年5月に中国・上海にて採択された「上海行動プログラム」及び2013年9月に韓国・光州にて採択された「光州共同コミュニケ」を踏まえ、昨年の第5回日中韓文化大臣会合以降、3か国により実施されてきた文化交流分野の実績のレビューを行った。
- 2.2. この間、日中韓3か国における東アジア文化都市関連事業の実施、日中韓芸術祭の実施、日中韓文化芸術教育フォーラムの実施、日中韓国立博物館による共同展の開催など、3か国間における文化交流行事は着実に実施されてきている。

2.3. これまでの日中韓3か国における文化交流及び協力の実績を踏まえ、また、2015年に中国で予定される第7回日中韓文化大臣会合における新たな行動計画の策定に向け、我々は以下の分野において協力を推進することを決定した。

### 3. 東アジア文化都市—地方自治体レベルの交流を推進

3.1. 我々は、2014年の東アジア文化都市である日本・横浜市、中国・泉州市、韓国・光州市の3都市により、文化交流事業がこれまで活発に実施されていることを高く評価した。

3.2. 2015年以降の東アジア文化都市については、我々は、今後とも原則として毎年3か国から1都市ずつ選定することとした。ただし、各国の事情により年によっては日中韓文化大臣会合の主催国を除くある国がその文化都市を選定できない場合もあり得る。

3.3. 我々は、2015年の東アジア文化都市として、日本の新潟市、中国の青島市及び韓国の清州市を選出することを決定した。2014年の東アジア文化都市の経験を踏まえ、2014年、2015年の東アジア文化都市間で活発な交流が行われることを期待する。

3.4. 我々は、かかる都市間の交流が3か国の関係深化のみならず、地域が抱える様々な課題の解決に貢献し得る意義に鑑み、3か国の東アジア文化都市を含む諸都市が連携し、社会的課題を文化の力で解決するための知見を共有することの重要性を確認した。

3.5. 2014年4月ベトナム・フエにて行われた第6回 ASEAN+3文化大臣会合において議論された東アジア文化都市と ASEAN 文化都市との連携に関し、我々は、日中韓で本件に関する検討を進めた上で、ASEAN 諸国との協議を行っていくこととした。

#### 4. 芸術家の育成と交流の促進

- 4.1. 我々は、伝統芸術・現代芸術・新しいメディアによる芸術の様々な分野において、芸術家の交流を進めること、特に日中韓の将来を担う若い世代の芸術家の育成と交流の意義を改めて確認した。
- 4.2. 我々は、2013年9月27日に光州市で、また2014年9月4日、横浜市で成功裏に開催された日中韓芸術祭が3か国の優れた伝統文化、現代文化芸術を世界に示す貴重な機会であり、今後も日中韓文化大臣会合の主催国において毎年開催していくことを再確認した。
- 4.3. 我々は、他国に自らの文化を紹介するため、一定期間に渡り当該他国に滞在する芸術家及び文化人を派遣することに合意した。日中韓各国は、若い芸術家を含む文化人・芸術家を東アジア文化交流使として派遣する。
- 4.4. 我々は、日中韓3か国の芸術家、特に若手芸術家の交流を奨励する。この文脈で、日中韓で開始した文化芸術教育フォーラムが有益な役割を果たしていることを再確認し、芸術教育の育成分野における芸術家及び教員を含む専門家の訓練について、3か国による協力を引き続き強化していく。

#### 5. 文化施設間の交流

我々は、日中韓3か国の国立博物館館長会議で、災害時の文化財を保護すること、事例紹介と研究者の相互交換による共同研究を推進することを決定したこと、本年9月から11月まで東京国立博物館において開催した三館共同企画特別展を踏まえ、2016年中国の国立博物館における新たな共同企画展示の開催について合意したことを歓迎する。また、3か国により多くの文化機関が相互に対話・交流することが可能な枠組みを構築することを支持・奨励し、3か国間の人的交流と文化交流の活性化のために努力することとする。

## 6. 文化遺産の保護・継承に向けた「知」の共有と協力の推進

- 6.1. 日中韓3か国は、幾多にわたる自然災害と目覚ましい経済成長を経験する中にあっても、有形・無形の文化遺産を今日まで継承し、人類共通の財産ともいえる豊富な文化遺産を有している。我々は、経済成長と文化遺産の保護との両立を図り、自然災害を乗り越えてきた経験を生かし、世界の国々における文化遺産の保護・継承の取組に積極的に貢献していくことを確認した。
- 6.2. 各国のユネスコのアジア太平洋地域無形文化遺産センターは、それぞれ人材育成の促進、調査研究の実施、及び情報ネットワークの構築を進め、さらに相互の連携を図ることにより、より高い相乗効果を生むことが可能となる。日中韓3か国は、アジア太平洋地域における無形文化遺産の保護・継承に効果的に貢献するよう、各センターの活動を支援する。
- 6.3. また、日中韓3か国は、それぞれが有する有形・無形の文化遺産の保護・継承に資する豊かな経験を文化遺産国際協力に関するフォーラム等の場を通じて共有し、優れた取組に関する知見を交換することにより、各国における文化遺産国際協力にフィードバックし、今後、世界の国々における文化遺産の保護・継承により効果的に貢献していくことを確認した。

## 7. 文化産業分野での協力及び著作権保護の強化

- 7.1 我々は、それぞれに卓越した文化を持つ国家として、次世代の成長原動力の鍵としての文化産業の重要性を再認識した。これまで継続的に開催してきた3か国の文化産業フォーラムの役割を評価し、今後とも、様々な対話の枠組みを通じ、文化産業に関する国際的な行事に3か国の政府機関、公的機関、及び企業が積極的に参加し、交流と協力を継続していくことを決定した。
- 7.2 我々は、文化芸術の振興と文化産業の持続的な成長と発展に不可欠な基盤となる創造的活動と技術的革新における著作権の保護の重要性を再認識した。また、我々は、関連法規を改定することにより、著作権保護と海賊版撲滅を推進

するとともに、正規品の使用と流通環境の改善を通じて、かかる努力を払う必要性に対する認識を向上し、実効的な海賊版対策を実施するために、3か国による協力と交流を引き続き強化していくことを決定した。

## 8. 政府レベルの対話の強化

我々は、日中韓文化大臣会合が日中韓の文化交流及び協力の推進において果たしている重要な役割を改めて確認するとともに、上述の協力を推進するため毎年1回の大臣会合のほか、適切なレベルによる会合を実施することにより、文化についての日中韓の対話を一層深化させるよう努めることを決定した。

## 9. 2015年の大臣会合に向けて

2012年に採択された「上海行動プログラム（2012—2014年）」が本年末に期限を満了させることから、我々は、第7回日中韓文化大臣会合において新たな3か年の行動計画を策定することとした。新たな行動計画は、本共同声明で確定した内容に基づいて制定するものとするほか、

- ・2018年のピョンチャン（平昌）オリンピック・パラリンピック、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた日中韓の文化交流のための共同プログラム、
  - ・上海行動プログラムに規定されている、日中韓芸術祭を東アジア域外の国又は地域で開催する実施可能性、及び
  - ・相互連携、及び派遣の詳細な時期及びプロセスを含む情報共有による、東アジア文化交流の推進
- を検討事項として織り込むこととする。

## 10. おわりに

我々は、2015年に中国において第7回日中韓文化大臣会合を開催するこ

とを決定した。第6回日中韓文化大臣会合終了後、事務レベル会合を含む次回大臣会合の準備を開始し、中国は議長国として日中韓文化関連会合の調整を主導することとする。

日本国  
文部科学大臣

中華人民共和国  
文化部長

大韓民国  
文化体育觀光部長官

---

---

---

# 横滨共同文件

## 1. 序言

1.1 中华人民共和国文化部、日本国文部科学省、大韩民国文化体育观光部于 2014 年 11 月 30 日在日本横滨召开了第 6 次中日韩文化部长会议。

1.2 我们秉承《南通宣言》、《济州宣言》以及《奈良宣言》的精神，在落实决定中日韩三国合作框架的 2012 年《上海行动计划》以及进一步明确合作内容的 2013 年《光州共同文件》的基础上，我们认为三国间的文化交流与合作正在稳妥推进。

1.3 我们重申文化交流与合作能够促进三国国民间的相互理解与友谊，并一致认为面向未来的文化交流与合作将促进三国文化发展，成为东亚和平与繁荣的基石。

## 2. 回顾过去一年的文化交流项目

2.1 根据 2012 年 5 月在中国上海通过的《上海行动计划》以及 2013 年 9 月在韩国光州通过的《光州共同文件》，我们回顾了去年第 5 次文化部长会议之后三国文化交流领域的成果。

2.2 过去一年，中日韩三国举行了“东亚文化之都”系列活动，中日韩艺术节、中日韩文化艺术教育论坛、中日韩国家博物馆联合展览，三国间的文化交流活动正在稳步推进。

2.3 第 7 次中日韩文化部长会议计划于 2015 年在中国举办，为届时在会上制定新的行动计划，我们决定在现有三国间文

化交流与合作成果的基础上，推进以下领域的合作。

### 3. 东亚文化之都——推进地方间交流

3. 1 我们高度评价 2014 年以来首届“东亚文化之都”中国泉州、日本横滨、韩国光州积极开展的文化交流活动。

3. 2 对于 2015 年之后的“东亚文化之都”，我们决定今后原则上由三个国家每年分别推选一个城市。但是，根据该年各国的具体情况，可能会出现在中日韩文化部长会议主办国之外的某个国家无法决定其“东亚文化之都”的情况。

3. 3 我们选出中国青岛、日本新泻、韩国清州为 2015 年“东亚文化之都”，期待在 2014 年“东亚文化之都”的经验基础上，2014、2015 年的“东亚文化之都”之间能够开展更加充满活力的交流。

3. 4 我们共同认识到就如何通过文化力量解决社会问题，共享相关信息以及推动包括“东亚文化之都”在内三国城市间协作的重要意义。鉴此，我们认为上述城市间的交流能够促进三国关系的深化，并为解决地区面临的问题发挥作用。

3. 5 我们将在中日韩三边商议的基础上，就 2014 年 4 月在越南顺化举行的第六届 10+3 东盟中日韩文化部长会议上讨论的“东亚文化之都”和“东盟文化城市”之间的合作，与东盟各国进行协商。

### 4. 培育艺术家和促进交流

4. 1 我们共同认识到在传统艺术、现代艺术和新媒体相关艺

术等多种多样的艺术领域里，推进艺术家交流，特别是加强肩负中日韩未来的年轻一代艺术家的培育和交流具有重要意义。

4.2 我们重申 2013 年 9 月 27 日以及 2014 年 9 月 4 日分别在光州、横滨成功举办“中日韩艺术节”是向世界展示三国优秀传统文化和当代文化艺术的宝贵机会，今后将每年继续在中日韩文化部长会议主办国举办这一艺术节。

4.3 我们同意派遣艺术家和文艺工作者在另外国家驻在一段时间，向对方国家介绍本国文化。中日韩三国将派遣包括青年艺术家在内的文化人士和艺术家作为“东亚文化交流使”。

4.4 我们鼓励中日韩三国艺术家，特别是青年艺术家之间的交流，重申中日韩文化艺术教育论坛在这一方面所发挥的积极作用，并推动三国在艺术教育师资方面加强合作。

## 5. 文化机构间的交流

我们欢迎中日韩三国国家博物馆馆长会议决定的以下合作内容：1) 加强面对灾难、灾害时的文化遗产保护，通过事例介绍和研究者互换推进共同研究；2) 在 2014 年 9 月至 11 月在东京国立博物馆召开的三馆联合展览的基础上，同意于 2016 年在中国国家博物馆举办新的联合展览。同时，我们将支持和鼓励三国更多的文化机构之间建立对话与交流合作机制，为三国间的人文交流和文化交流注入活力。

## 6. 推进文化遗产传承和保护方面的“知识”共享与合作

6.1 中日韩三国虽然经历了经济快速发展和自然灾害频发，但三国至今仍然传承了丰富的物质、非物质文化遗产，这些物质、非物质文化遗产是人类共有财富。我们一致同意要兼顾经济增长和文化遗产保护，要发挥战胜自然灾害的经验，为传承和保护世界文化遗产做出积极贡献。

6.2 三国各自国家设立的联合国教科文组织亚太地区非物质文化遗产二类中心通过推进培训、研究以及信息网络构建等方面的合作，将有可能产生更大的协同效应。中日韩三国支援各中心活动，以期有效推进亚太地区的非物质文化遗产的传承和保护。

6.3 三国愿通过文化遗产国际合作相关主题的论坛，共享各自传承和保护物质、非物质文化遗产的丰富经验。三国通过信息和知识的交流，在本国文化遗产国际合作中借鉴相关成功经验，并更有效地为世界文化遗产的传承和保护做出积极贡献。

## 7. 文化产业领域的合作和加强知识产权保护

7.1 作为拥有优秀文化的国家，我们重申文化产业作为下一代成长关键原动力具有重要作用。我们积极评价连续举办多届的三国文化产业论坛的作用，决定今后将继续通过各种对话机制，鼓励三国政府机构、公共组织和企业积极参与有关文化产业的国际活动，以推动文化交流与合作。

7.2 我们共同认识到文化创意和技术革新是文化艺术振兴和文化产业可持续发展不可或缺的基础。重申知识产权保护在

文化创意和技术革新中的重要作用。我们决定通过修订相关法规，推进知识产权保护和根除盗版，并通过使用正版和整顿流通环境，努力提高对知识产权保护和根除盗版的意识。为实施有效的反盗版措施，我们将继续加强三国在知识产权领域的交流与合作。

## 8. 加强政府层面的对话

我们重申中日韩文化部长会议对推进中日韩文化交流与合作发挥的重要作用。为推动上述交流与合作，我们决定除每年一次的部长会议外，举办其他适当层面的会议来进一步努力深化三国在文化领域的对话。

## 9. 2015 年中日韩文化部长会议

2012 年通过的“上海行动计划（2012-2014 年）”将于 2014 年年末终止。我们将在第 7 次中日韩文化部长会议上制定新的 3 年行动计划。

新的行动计划将根据本共同文件中确定的内容制定，并将列入以下议题：

1. 面向 2018 年平昌冬奥会、2020 年东京奥运会/残奥会举办与中日韩文化交流相关的共同项目；
2. 根据“上海行动计划”，探讨在东亚以外的国家或地区举办中日韩三边艺术节的可行性；
3. 三国将就相互派遣“东亚文化交流使”开展合作，并就派遣的具体日期和派遣方式等保持沟通，共同推进这一工作。

## 10. 结束语

我们决定于 2015 年在中国召开第 7 次中日韩文化部长会议。第 6 次中日韩文化部长会议结束后，我们将进行包括工作会议在内的新一轮文化部长会议的筹备工作，中国将作为主席国牵头推动落实相关协调工作。

中华人民共和国  
文化部部长

日本国  
文部科学大臣

大韩民国  
文化体育观光部长官

# **요코하마 공동 성명**

## **1. 서문**

1.1 우리, 대한민국 문화체육관광부 장관, 중화인민공화국 문화부 부장, 일본 문부과학성 대신은 2014년 11월 30일, 일본 요코하마에서 제6회 한·중·일 문화장관회의를 개최하였다.

1.2 우리는 「난퉁 선언(Nantong Declaration)」, 「제주 선언(Jeju Declaration)」, 「나라 선언(Nara Declaration)」 정신을 계승하며, 3국의 협력 기틀을 제공한 2012 「상하이 액션플랜」과 이 협력을 더욱 구체화한 2013 「광주 공동 합의문」에 입각하여, 한·중·일 간의 문화 교류와 협력이 순조롭게 진행되고 있음을 확인하였다.

1.3 우리는 문화교류와 협력이 3국 국민 간의 상호 이해와 우호를 촉진한다는 것을 재확인하였으며, 미래 지향적인 문화교류와 협력을 확립하는 것이 3국의 문화를 향상하고, 동아시아의 평화와 번영의 기반이 된다는 인식을 공유하였다.

## **2. 지난해 문화교류 프로그램 검토**

2.1 우리는 2012년 5월 중국 상하이에서 채택된 "한·중·일 액션플랜"과 2013년 9월 대한민국 광주에서 채택된 "광주 공동합의문"을

기초로 제5회 한·중·일 문화장관회의 이후에 진행된 3국의 문화교류 행사를 검토하였다.

2.2 지난해, 한·중·일 3국에서는 동아시아 문화도시 간 교류 행사, 한·중·일 예술제, 한·중·일 문화예술교육 포럼 및 한·중·일 박물관 공동 전시회 등 다양한 문화교류 행사를 개최하였다.

2.3 우리는 현재까지의 3국의 문화교류 및 협력 성과를 기초로 2015년에 중국에서 개최될 제7회 한·중·일 문화장관회의에서 새로운 액션플랜을 수립하기 위하여 다음 분야에서 협력하기로 하였다.

### 3. 동아시아 문화도시 - 지방정부 간 협력 증진

3.1 2014 동아시아 문화도시인 대한민국 광주광역시, 중국 취안저우 시, 일본 요코하마 시 간에 개최된 문화교류 행사는 높은 평가를 받았다.

3.2 우리 한·중·일 3국은 2015년부터 매해 각국이 한 개씩의 도시를 동아시아 문화도시로 선정하기로 하였다. 그러나 한·중·일 문화장관회의의 주최국이 아닌 경우에는 해당 국가의 사정에 의해 문화도시를 선정하지 않을 수 있다는 점에 합의하였다.

3.3 우리는 대한민국의 청주시, 중국의 칭다오 시, 일본의 니가타 시를 2015 동아시아 문화도시로 선정하며 2014년 경험에 기초하여 2014년과 2015년 동아시아 문화도시 간의 활발한 교류를 기대한다.

3.4 우리는 동아시아 문화도시 간의 교류가 3국의 관계를 깊게 하 고 지역의 다양한 문제해결에 기여한다는 점에 동의하며 동아시아 문화도시를 포함한 3국의 도시들이 연계하여 문화의 힘으로 사회 문제를 해결하는 데 필요한 정보를 공유하는 것이 중요하다는 것을 확인하였다.

3.5 우리는 2014년 4월 베트남 후에 시에서 개최된 제6차 아세안 +3 문화장관회의에서 논의된 동아시아 문화도시와 아세안 문화도시 간 협력을 한·중·일 3국의 검토를 거쳐 아세안 국가들과 협의하기로 하였다.

#### **4. 예술가 교류 및 양성 장려**

4.1 우리는 전통예술, 현대예술 및 뉴 미디어 예술 등 다양한 분야에서 예술가, 특히 한·중·일 미래의 중추적 역할을 담당할 청년 예술가의 육성과 교류의 중요성을 재확인하였다.

4.2 우리는 2013년 9월 27일 광주광역시와 2014년 9월 4일 요코하마시에서 성공적으로 개최된 한·중·일 예술제가 3국의 탁월한 전통과 현대 문화예술을 세계에 소개하는 소중한 기회였음을 확인하였고, 매년 한·중·일 문화장관회의 주최국에서 한·중·일 예술제를 개최하는 것이 중요하다는 점을 재확인하였다.

4.3 우리는 자국의 문화를 소개하고 상대방 국가와의 문화예술 교류를 촉진하기 위하여 상대방 국가에 문화예술계 청년을 포함한

주요 인사를 동아시아 문화사절단으로 파견하기로 하였다.

4.4 또한, 우리는 예술가, 특히 청년 예술가의 한·중·일 3국 간 교류를 장려할 것이다. 특히, 한·중·일 문화예술교육 포럼이 이러한 교류에 큰 역할을 하였음을 확인하며, 예술교육 분야의 발전을 위해 교사와 예술가 등 전문가 양성·훈련을 위한 3국 협력도 확대하기로 하였다.

## 5. 문화시설과 문화기관 교류

우리는 한·중·일 국립박물관장 회의에서 결정된 자연재해로부터의 문화재 보호 협력, 연구자 상호교류와 사례발표 등을 통한 공동연구 추진과 올해 9월부터 11월까지 도쿄 국립박물관에서 열린 한·중·일 공동 기획특별전과 2016년 중국 국가박물관에서의 새로운 공동 기획 특별전 개최에 대한 합의를 환영하였다. 또한 우리는 보다 많은 3국의 문화기관 간 대화, 교류, 협력을 장려하고 이를 위하여 3국의 문화기관 간 인적 교류를 촉진하기로 하였다.

## 6. 문화유산 보호를 위한 지식 공유 및 협력 증진

6.1 우리 한·중·일 3국은 놀라운 경제성장과 많은 자연재해를 경험했음에도 불구하고 유·무형 문화유산을 잘 보존, 전수하여 인류공동유산이라고 일컬을 수 있는 풍부한 문화유산을 보유하고 있다.

우리는 한·중·일의 자연재해 극복 사례 공유를 통해 세계 각국 문화유산을 보호하고 후손에 전하려는 노력에 기여하는 동시에 문화유산 보호와 경제성장에 균형 있게 대처할 것을 재확인하였다.

6.2 우리는 유네스코 후원을 받는 무형문화재 분야의 각국 카테고리 2센터들은 축적된 지식과 연구수행, 인적자원 개발 그리고 정보공유 및 협력을 통해 보다 큰 공동이익 창출이 가능하다는 것을 확인하였다. 또한, 한·중·일 3국은 각 센터의 활동을 지원하여 아시아 태평양 지역의 무형문화재 보호 및 전수를 위해 실질적으로 기여할 것을 확인하였다.

6.3 우리는 문화유산 국제협력 포럼 등을 통해 각국이 보유한 유·무형문화유산의 보호 및 계승을 위한 풍부한 경험을 공유하고, 성공사례와 정보를 교환하여 각국의 문화유산 국제협력에 기여하며 향후 세계 각국의 문화유산 보호 및 계승에 보다 효과적으로 협력해 나갈 것을 확인하였다.

## 7. 문화산업 협력과 저작권 보호 강화

7.1 우리 한·중·일 3국은 뛰어난 문화를 보유하고 있으며, 문화산업이 차세대의 주요 성장 동력이라는 것을 재확인하였다. 우리는 현재까지 지속적으로 개최된 한·중·일 문화산업 포럼의 역할을 높이 평가하여 이와 같은 교류 및 협력을 지속시키며 다양한 형태의 국제

문화산업행사에 한·중·일 민간기업, 공공기관 및 정부가 적극적으로 참여할 것을 장려할 것이다.

7.2 우리는 문화산업의 지속적 발전, 성장 및 문화예술 증진에 불가결한 요소인 창작활동에서의 저작권 보호와 기술혁신의 중요성을 재확인하였다. 우리는 관련 규정 개선을 통해 저작권 보호와 불법복제 방지에 계속 노력하기로 하였다. 아울러, 정품 사용과 유통환경 개선을 통해 효과적인 저작권 보호와 인식제고를 위한 노력을 계속할 것이다.

## 8. 정부차원 대화 심화

우리는 한·중·일 3국의 문화교류와 협력증진을 위한 한·중·일 문화장관회의의 중요성을 재확인하였다. 우리는 3국 협력증진을 위하여, 매년 개최되는 문화장관회의와 함께 각급 회의를 개최하여 3국 대화를 보다 심화하기로 하였다.

## 9. 2015 한·중·일 문화장관회의

우리는 2012년에 채택한 상하이 액션플랜(2012~2014)이 올해 만료됨에 따라, 다음 문화장관회의에서 3개년의 새로운 액션플랜을 수립하기로 하였다. 새로운 액션플랜은 한·중·일이 동의한 공동 성명을 기반으로 구성되며 다음 사항을 고려한다.

- 1) 새로운 액션플랜의 공통 관심사인 2018 평창동계올림픽과 패럴림픽, 2020 도쿄 올림픽과 패럴림픽을 통해 3국이 공동으로 참여하는 문화교류 프로그램을 구성한다.
- 2) 상하이 액션플랜에 규정되어 있는 한·중·일 예술제를 동아시아 지역 외 국가 및 지역에서 개최 가능성을 검토한다.
- 3) 동아시아 문화사절단 추진을 위해 긴밀히 협력하며 사절단의 파견시기 및 방법 등 필요한 정보를 공유한다.

## 10. 결론

우리는 2015년에 중국이 제7회 한·중·일 문화장관회의를 주최할 것을 합의하였으며 제6회 한·중·일 문화장관회의 종료와 함께 국장급 회의를 포함한 차기 문화장관회의 준비를 착수할 것이다. 중국은 의장국으로서 관련 회의 준비를 주도한다.

## 서명인

대한민국  
문화체육관광부 장관

중화인민공화국  
문화부 부장

일본국  
문부과학성 대신